

現力、技術力、知識力を基準として、外部有識者及び各主催者の代表による審査を実施)

## 平成18年「宇宙の日」記念行事の実施状況について

平成18年9月6日  
研究開発局参事官  
(宇宙航空政策担当)付

平成18年「宇宙の日」記念行事として行われる、全国小・中学生作文絵画コンテスト、「宇宙の日」ふれあいフェスティバル2006等の実施状況は、以下のとおり。

### 1. 全国小・中学生作文絵画コンテスト

全国の科学館72館の協力を得て、「ようこそ私の星へ」のテーマで作文絵画コンテストを実施し、主催者賞及び各科学館賞の受賞者を決定、表彰する。

#### (1) 概要

- ・主催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、協力科学館
- ・募集期間 平成18年4月12日(水)～7月14日(金)
- ・参加対象 全国の小・中学校に在籍している児童・生徒
- ・最終審査 絵画：平成18年8月23日(水)、作文：平成18年8月25日(金)(創造・想像力、表

- ・表彰式 平成18年10月8日(日)(日本科学未来館)

#### (2) 応募数

- ・作文の部 小学生部門 1,616 ( 880 )  
中学生部門 2,298 ( 1,219 )
- ・絵画の部 小学生部門 19,149 ( 16,058 )  
中学生部門 1,717 ( 1,206 )

括弧内は昨年度の応募数。

#### (3) 受賞者

文部科学大臣賞

- ・作文の部 小学生部門 岡田 智実(交野市立妙見坂小学校4年)  
「みんなで笑おう」
- 中学生部門 佐藤 華純(由利本荘市立本荘東中学校3年)  
「銀河系の宝物」
- ・絵画の部 小学生部門 浅川 紗妃(つくば市立桜南小学校6年)
- 中学生部門 西山 純世(みなべ町立上南部中学校3年)

受賞者には、地球儀及びプラネタリウムセットを贈呈。その他、各主催者賞を計14名に付与。

#### (4) 備考

教育・学校との連携により本コンテストを活性化させる観点から、昨年12月、各都道府県教育委員会に対し、文

部科学省課長名の通知を発出し、周知した。来年の行事の実施にあたって、教育・学校との連携、参加科学館の拡大を通じ、更なる活性化を図る予定。

## 2. 「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2006

「宇宙の日」を記念するためのメインイベントとして、宇宙飛行士等の参加を得て、「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2006 を開催する。

### (1) (1) 概要

- ・主催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団
- ・共催 第25回 ISTS 金沢実行委員会
- ・協力 石川県立中央児童会館
- ・期間 平成18年9月8日(金)～10日(日)10:00～17:00
- ・場所 石川県立中央児童会館、金沢駅もてなしドーム地下広場
- ・参加者 小・中学生及び保護者

### (2) プログラム

#### スペーストークショー

日本人宇宙飛行士の出演により、

- ・宇宙での仕事及び生活等について宇宙飛行士講演
- ・小惑星命名
- ・宇宙飛行士への質問、宇宙クイズ

等を実施。

#### 宇宙体験工作広場

宇宙をテーマにした、

- ・フィルムケースを利用したプチロケットの工作と打上げ体験
  - ・宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟等のペーパークラフト工作
  - ・星座早見盤工作
- 等の工作体験を実施。

この他、各種体験広場(実験教室、宇宙服着用・撮影、模型展示を実施)、GPSゲーム大会等を実施。

## 3. ふれあい宇宙展 2006

『宇宙の日』ふれあい月間」を中心とした以下の期間・場所で、「全国小・中学生作文絵画コンテスト」の受賞作品等を展示する「ふれあい宇宙展 2006」を実施する。

- ・9月9日～10日 金沢駅もてなしドーム地下広場
- ・10月4日～9日 日本科学未来館
- ・11月1日～11月30日 宇宙航空研究開発機構東京事務所情報スペース「JAXAi」

(参考)

月間」としている。

## 「宇宙の日」記念行事について

### 1. 経緯等

#### (1) 「宇宙の日」について

1992年の国際宇宙年に際して、次世代を担う青少年をはじめとして広く一般の人々の宇宙活動に対する理解を深めることを目的として、日本の「宇宙の日」が一般公募により9月12日に設定された。これは毛利宇宙飛行士がスペースシャトルで宇宙に飛び立った日が9月12日であることや、国際宇宙年である1992年の九十二との語呂合わせなどが理由となっている。

#### (2) 「世界宇宙週間」について

1999年7月、第3回国連宇宙会議において、毎年10月4日から10月10日を「世界宇宙週間」とするという提言がなされ、同年12月、国連総会において正式に決議された。10月4日は世界初の人工衛星「スプートニク1号」が打ち上げられた日、10月10日は「宇宙条約」が発効した日である。

#### (3) 「『宇宙の日』ふれあい月間」について

2000年から「世界宇宙週間」が設定されたことにかんがみ、「宇宙の日」がある9月上旬から「世界宇宙週間」がある10月上旬までの1ヶ月間を「『宇宙の日』ふれあい

### 2. 全体テーマ

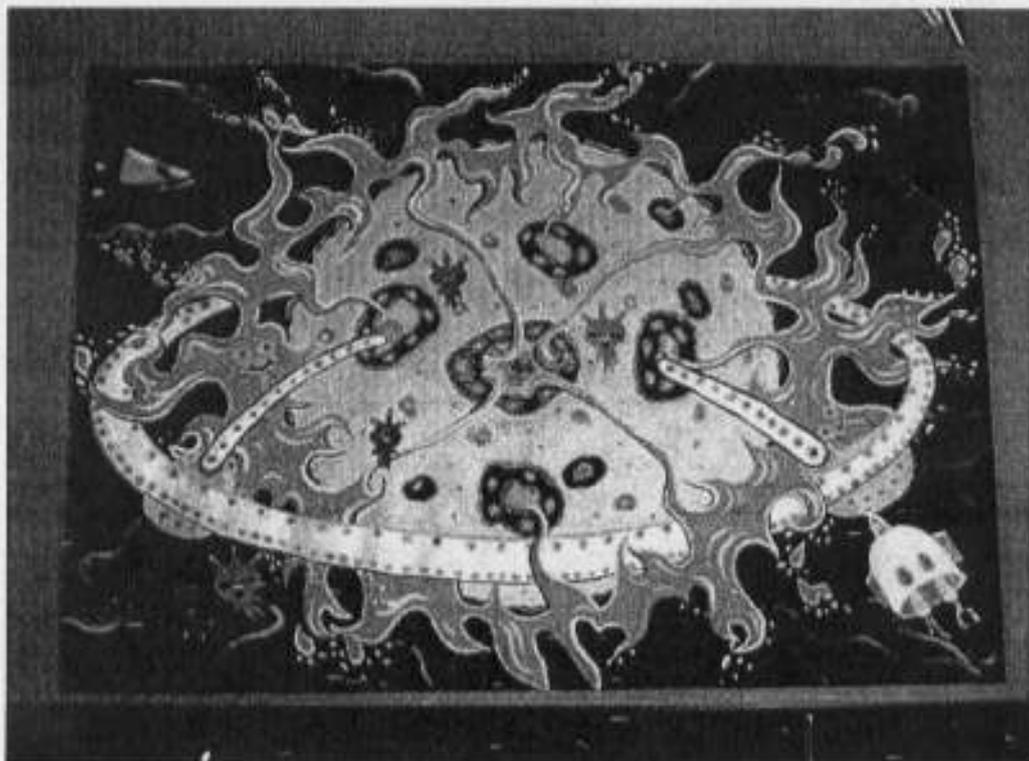
「宇宙へ飛び出せ好奇心！」

### 3. 主催者

文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団

■文部科学大臣賞

つくば市立桜南小学校6年生 浅川 紗妃さん



■文部科学大臣賞

みなべ町立上南部中学校3年生 西山 純世さん

